

# 矢上高校第1回授業力向上セミナー（模擬授業セミナー）感想集計

H28.6.27（月）

## 模擬授業 1

### 仁宮先生（農業） 「農業と環境」:

作物の種子を播くまで、どのような準備が必要かを理解する。

- ・生徒の活動の写真から本時に入られることで、目的を持って生徒が取り組めると思いました。必要なことを習うのではなく、自ら考えるのが良かったと思います。
- ・パワーポイントの使い方、文字数などが少なく、見やすいと感じました。
- ・とても丁寧なことば遣い。先生が生徒の様子をよく見られている。
- ・質問の仕方がわかりやすく、発言に対して常にコメントを添えられていてよかった。また、生徒の発言から次の質問につなげる流れは参考になった。
- ・パワーポイントで提示されていてわかりやすい。内容も身近で考えやすく、おもしろい。
- ・めあてが明確に出されて、今日は学ぶことがすぐイメージできました。先生の人柄がでており、安心して授業を受けることができました。
- ・授業のねらい「目標」が明確。考えさせる時間の30秒延長で考えが深まる。人柄が良い。授業を受け入れやすい。
- ・生徒の活動をもとに考える授業だったので、意見が出しやすい。指示がプロジェクターにあるのでチェックしやすく、内容は難しかったが確認しながら行うことができた。
- ・指示がスライドで出ているのがよかった。
- ・指示がわかりやすかった。
- ・ICTを使うとわかりやすく、興味を持ちやすくなると思った。並び替えが考えさせられた。
- ・確認、鉛筆を置くなど指示が明確だった。話し方がゆっくりでよく伝わった。時間を制限するところがよい。
- ・「めあて」の明示。発話スピードは大切だと思う。
- ・「一時一事」から「深めさせる質問」が優れていた。（順番に並べる）
- ・前回の実習内容の振り返りを写真を見ることで、より強く思い返せるように思いました。指示した内容が常にスクリーンに出ているのも見やすかった。意見を聞くとときに図2を出しながらにすると、指示を守っていることの確認と、図2にない意見としてどんなものがあがったかわかりやすいと思います。
- ・視覚支援がなされていて、どの資料をさしていたのか、わかりやすかったです。自分で考える時間の多い展開だったと思います。
- ・「常にめあてが見えたほうがよい」「自分たちの写真で引き付ける」などの意見と同感。7分間の中で、「理解」までのプロセスがスムーズに流れて行った。（畑づくり未経験者）生徒でも想像しやすく、自分からすすんで考えるようになると思います。
- ・7分間とても時間が短く感じられました。それだけ授業に集中していました。
- ・パワーポイント使って指示を提示すると、板書よりもわかりやすいし時間の節約にもなる。いつでも再提示しやすい。発問した答えを板書させると反復にもなるので・・・と言われ、今度から実践しようと思った。
- ・めあての提示をいつするか・・・自分の授業では全くやっていない・・・と気付いた。
- ・ていねいな語り、でも、ノルアドレナリンもしっかり出させていました。
- ・指示が明確で、考え、話しやすかった。「ペンを置きましょう」「前を向きましょう」、

今後多く利用していきたいと思います。

- ・めあてが最初に提示された。指示がスクリーンに出ていた。いつでも確認作業ができた。「30秒過ぎました」よりは「あと30秒」のほうが良いのでは。集中力がより増すと思います。

## 模擬授業2

### 小岩先生（英語）

#### 「簡単な英語を使って一見難しそうな日本語を英語で表現する方法を理解する」

- ・とても楽しい授業で良かったと思います。
- ・勢いがあり良いと思った。情報が多くどの作業をすればよいか分かりにくい。情報量を少なくすれば分かりやすいと思いました。
- ・はじめて見た英文から連想するのは難しい。果たして英語をあまりよく理解できていない生徒がいると難しいのではないか。何を学ばせたいのか、よくわからない。
- ・指導助言をすぐ受け入れられて展開されるなんてすごい
- ・楽しくできた。
- ・まるでクイズのようで、とても楽しく勉強できました。もっともっと受けたいです。
- ・楽しく学べる内容だった。日本語を英語で表現する難しさがおもしろい。柔軟にすぐ取り入れる力が立派。
- ・まず笑から入るので活動に参加するにあたっては教材の得意・不得意にかかわらず意欲的に行うことができた。問題が難しくてなかなか意見が出ず残念だった。
- ・導入がおもしろかった。柔軟にパクっていてよかった。
- ・おもしろくためになった。
- ・みんなを引き込む雰囲気よかったです。
- ・「臨機応変」の巧みさ、本題にどこで入るかが問題。
- ・英語の歌詞を見ただけではなかなか難しいなと思ったあとの解答のギャップが印象的でした。そこからの言い換えの問題は単純に英語力というだけでなく、人とのコミュニケーションをきたえられるものだと思います。
- ・歌詞がパワーポイントで用意されていて、スムーズに提示ができて良いなと思いました。また、好きな時まで提示できて、好きな時に消すことができている良いですね。前の人の指導を取り入れられてすごいです。
- ・前のアドバイスを即座に取り入れて瞬発的に応用される姿が素敵でした。ICT活用にたけておられてi Padとか使いこなしているのですごいし、生徒の興味ある領域をよく知って研究しておられると感心しました。
- ・小岩先生の授業はもう少し受けてみたいと思いました。カウカウはおもしろいネタだと思いました。
- ・英語は苦手だが、歌と結びつけると、分からないなりに一生懸命考えている自分がいた。活動や教材に何をを使うかが重要だと感じた。
- ・応用力の高さ、反応の良さ、さすがです。
- ・動画や写真を用いるとインパクトがあり、「そうか！」「なんだ！」という思いも増しました。
- ・活動にすぐ入るともっとよかった。いきなりペアよりは、じっくり読む時間を作ってからペアワークのほうが良いか。曲あてかと思ったら、表現を学べる。素晴らしい技術です。

## 模擬授業3

### 西田先生（数学） 「整数の性質」

整数に関するゲームに取り組み、整数の余りの性質について理解する。

- ・ゲームを通して自然と剰余の大切さに気付いていける導入で素晴らしいと思いました。
- ・体験させて引き込む、導入が面白いと思いました。
- ・生徒の注目を浴びるような話術がnice! 考えるきっかけになりそう。最後は早すぎてよくわからない。
- ・見本があってよかった。簡単にやってみせることの大切さを知った。
- ・考えさせる授業でおもしろい。
- ・スタート時に、クイズ!と言われ、その一言で一気にワクワクしました。
- ・数学をゲーム形式で考えさせられ、「アハ!」があった。見本を見せてわかりやすくする発展的な内容になっていた。
- ・「4の倍数を取ればよい」ということの発見で引き込まれる感じがあった。ゆっくり考える時間はなかったが、リズムよくどんどん進んでいくので、乗り遅れるとついていけなくなる所が困る。
- ・余りとゲームがどう関連するのかもう少し聞いてみたかった。
- ・ゲームがおもしろかったが難しく途中でついていけなくなった。
- ・考えさせられたので、時間がアツという間にたった。
- ・テンポとゲームという好奇心から引き込まれる。楽しみながら考えていく中で、それが数列か何かになるのだろうか。
- ・ゲーム①はよく見たりするものですが、必勝法を知っている人と知らない人がまじっていると盛り上がるものだなと再確認しました。ICTとしては、ルールを提示しながら、実際にやられていたのはわかりやすかったです。
- ・21を言ったら負けのゲームで答えを教えてもらった後のリトライで、4の倍数に○をつけて提示しておいてもらったら、4の倍数を意識しやすかったです。テンポがよく休む間もなく考え続けられる展開でした。
- ・普段ものしずかな西田先生のだ迫力でした。
- ・西田先生のつかみのゲームはおもしろかったです。身近なところから一般的なところへ話をすすめていくのは大変参考になりました。
- ・ゲームと言いながら、数列?を考えさせるやり方。終わり方も生徒に考えさせる終わり方になっていた。
- ・具体→一般は数学ではとても大切だと思います。具体→発見→それをせつめいさせることで学習が深まるなと思いました。
- ・見本があるのが良い。生徒に勝たせてあげるのが良い。

## 模擬授業4

### 大島先生（公民） 「選挙制度（主権者教育）」

選挙違反とみなされる行為を確認する。

- ・生徒の身近な問題を主体的に考えることができ良かったと思います。カードを上げさせることで全員が参加でき、また他の人の様子も知ることができ、緊張感と安心感が同時

にあると思いました。

- ・問題を黒、正答を赤で表示することで、視覚的にとてもわかりやすかったです。
- ・次々のあれこれ出てくるので頭の中で整理しにくい。AやBなどの定義がわからなくなる。
- ・旬の教材で興味関心のわくテーマでよかった。
- ・とてもわかりやすく、参加しやすい。
- ・カードの利用により、確認が一瞬ででき、工夫されていると感じました。
- ・クイズ形式でおもしろい。動きが出て集中しやすい。
- ・自分自身の研修として参加してしまいました。本当に知らなかったではすまされない内容でした。Aさん、Bさん、〇〇部などを具体的にいれてもらう、わかりやすく考えられたと思う。
- ・パワポを使われてすごい。
- ・カードを使って生徒の理解度を確かめながら授業をされた。自分も間違えるものも多く、ためになった。
- ・内容がおもしろかった。ものがあるだけで緊張や楽しみがあってよかった。
- ・取り上げる内容が興味深かったです。
- ・カードによりずっと集中力が保たれる。理由を考えさせることが大切。
- ・例が身近で取り組みやすかったです。ごちゃごちゃすると思いますが、〇×で近くと同じカードを上げた人で話し合わせてもよいのかなと思いました。
- ・参加型だったうえにカードがあったので、自分の意思を表しやすかったです。1問1問解説があったので、納得がいき、頭に入っていました。(次の問題のヒントになりました)
- ・最初に笑いをとってしまうところで「たのしみ」感で入れた。難しい題材だけれど楽しんで取り組める青赤の〇×法がよかった。
- ・大人としてしておくべきことを分かりやすい例を用いて話をされていました。とても参考になりました。
- ・カードを使用すると、〇×が答えやすかったです。その様な環境をつくることは大切だと思いました。周囲がどちらを上げたのか見せる時間があってもよいかなと思いました。
- ・題材が身近で良い。活動が多くて参加している感がある。カードを使うことで、ついでに形成的評価もできる。良いアイデアです。

## セミナー全般を通して

- ・大切なこともコンパクトにまとめて説明していただき、とてもわかりやすかったです。
- ・例をあげながらの説明でよくわかり勉強になりました。
- ・学習とは繰り返すことである。知る→情報の提示を銘記する。気づく→豊富な体験が必要。理解する→異なった意見や概念の比較・検討。できる→お手本の模倣と反復が必要。動き→ドーパミン、安心→セロトニン、緊張→ノルアドレナリン。
- ・それぞれの先生がそれぞれのキャラクターを活かした授業でした。太田先生のコメントが、昨年のはじめての時に比べマイルドになり、少し聞きやすくなりました。
- ・定期的に行われることで新たな発見もありますが、忘れていたことに気付かされることも多々あります。教科内容は違うけれど楽しめました。原則を守りつつも先生の個性がそれぞれの授業に出てくるところが先生方の力量なのだと感じました。授業の入り方に関し

ては自分はダラダラと始めることが多く、もっと工夫すべきだと思った。

- ・ 昨年から実施されている研修会とは知っていましたが、趣旨等分からず、何を前提として、講師の先生の指導、模擬授業が成り立っているのか？？？のまま。発達障害の子どもに対して？？？その中でされた二宮先生はすごいと思いました。私にはできません。

- ・ 黒板の書き方や、工夫の仕方を具体的に示してもらえ、参考になりました。

- ・ 良い点を沢山言っただけ、気持ちよく学ぶことができました。

- ・ 授業の中で何をポイントにおいて授業をするとよいかわかりやすかった。

- ・ 言葉にできないことを、言葉でシャープに言っただけなので何がよくて何が悪いの

- ・ 忘れていたことも多く、反復しておきたいです。

- ・ ワーキングメモリーのことをよく忘れてしまいます。また、体験や模倣・反復等、生徒主体の活動をもっと取り入れていこうと思いました。

- ・ 7分間の授業の組み立てを昨年よりいろいろと学ばせていただきました。せっかくの流れを妨げないように、ICT機器をスムーズに使えるように努力したいと思います。

- ・ 全体を通して、生徒がどうやって”考える”のか”動く”のかなどの意識の仕方がなんとなくではありますが見えてきました。特に板書の書かせ方など細かいところは参考になりました。良い声を出してきれいな字を書いて少しでも生徒の関心を引き出せるようにこれから気を付けたいと思います。

- ・ 7分間でも無駄なく進めると、いろいろな学習活動ができるのだなと思いました。4名の先生方それぞれに、引き付ける工夫をされていたのですっかり生徒になりました。最初の導入15秒が大切だとわかりました。授業直後に的確なコメントを言ってくださってとてもわかりやすかった。

- ・ 講師の先生の指導は、原理・原則があり、誰もが意識しやすいポイントを示していただいたので、わかりやすかったです。今後の自分の指導に生かしていきたいと思います。

- ・ 沢山の重要なアドバイスを聞いてとても刺激的でした。私ははじめてこのセミナーに参加しましたが、改めて自分の教科の授業についても見直したいと思いました。ただ、今日の気づきの中での重要ポイントが、自分の教科の中でどういうふうに生かせるか、研究しなくてははいけません。

- ・ 時間が7分ということで、いらないところはバツサリ切っていくかないといけなかった

- ・ 毎回何か考えさせられる、頭を働かせる活動があり参考になります。研修後はとても意欲的になれるのですが、いざ、やるとなると・・・やる気を忘れてしまい・・・年何回かのこの授業で、モチベーションを上げていきたい。初心をわするべからずです。

- ・ 生徒同士がふだん、遊びでやっていることを題材としてあつかう→興味がわく。普段から生徒たちの遊び・はやり注目することも重要だと感じた。

- ・ 違った意見が出たとき、各々に根拠を言わせる→ポイント！！アクティブラーニングをやってみようと思っているが、ヒントをいただいたような気がする。

- ・ 毎回面白い話をありがとうございます。

- ・ ただただ驚きました。分かったつもりで今まで行ってきた自分の授業を振り返ると、もっと工夫すべき、気を使うべきことがこんなにもあるのかと感じています。

- ・ いつも復習＋アルファがあるのでわかりやすい。毎回新しいことを学べます。明日から使えるアイデアも多いので助かります。